

## 1. 環境経営方針

### [基本理念]

株式会社シントーは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、企業のあらゆる面で地球環境の保全に配慮して行動し、それと共に住みよい地域の発展に貢献することとして、基本方針を定める。

〈社是〉 良い品を安く造る

〈社訓〉 一、互に敬愛し信頼と善意とを以て社内生活を明朗にする

一、強い責任感を以て職分を遂行する

一、技術の向上習熟と創意工夫とを重んずる

一、質素を旨とし節度と礼儀とを重んじ心身を健全にする

### [基本方針]

プラスチック製品の製造に関わる全ての生産又は消費活動とこれらの製品及びサービスの環境影響を低減するために、環境関連法令並びに、同意したその他の要求事項を遵守し、環境経営システムにより下記の項目について継続的な改善を進めます。

イ) 地球温暖化抑制運動の推進に努めます。

ロ) 事業設備からの機械作動油及び、プラスチック原材料の漏洩防止に努めます。

ハ) 廃棄物の分別適正処理を行うと共に、廃棄物処理の削減に努めます。

ニ) 事業設備及び、事務所に係る天然資源（電気エネルギー・自動車燃料・上下水道・ガス）等の使用量削減に努めます。

ホ) グリーン購入を積極的に推進します。

3.全従業員に環境方針並びに地球環境の大切さを教育し、意識の高揚及び保全活動を推進するため全ての組織、従業員が活動できる環境管理組織を整備します。

4.社内の連携を密に、海外メーカーに負けない効率的で高品質な「ものづくり」を心がけ、生産工程から発生する環境負荷の低減に取り組むと共に恒久的な環境に配慮した経営を推進します。

5.環境経営方針及び環境経営活動レポートは社外の求めに応じて開示します。

制定日:2019年10月01日

株式会社 シントー

代表取締役

横 濱 勲

## 2. 対象範囲

認証登録範囲は本社及び山形工場の全ての活動  
(活動期間 2019年4月1日～2020年3月31日)

## 3. 組織の概要

### ■事業者名及び代表者名

株式会社シントー 代表取締役社長 横瀧 勉

### ■所在地

本社 東京都足立区谷中5丁目3-12  
T e l : 03-6802-6565 Fax:03-6802-6577  
URL <http://www.sintoh.co.jp>

山形工場 山形県新庄市福田字福田山711-54  
T e l : 0233-22-6557 Fax:0233-22-9559  
宮城営業所 宮城県岩沼市あさひ野1丁目12-11  
T e l : 0233-35-7910 Fax:0233-35-7911  
(2021年度認証取得予定)

### ■環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境推進責任者 高橋 直人 事務局担当者 佐藤 美紀 (山形工場)

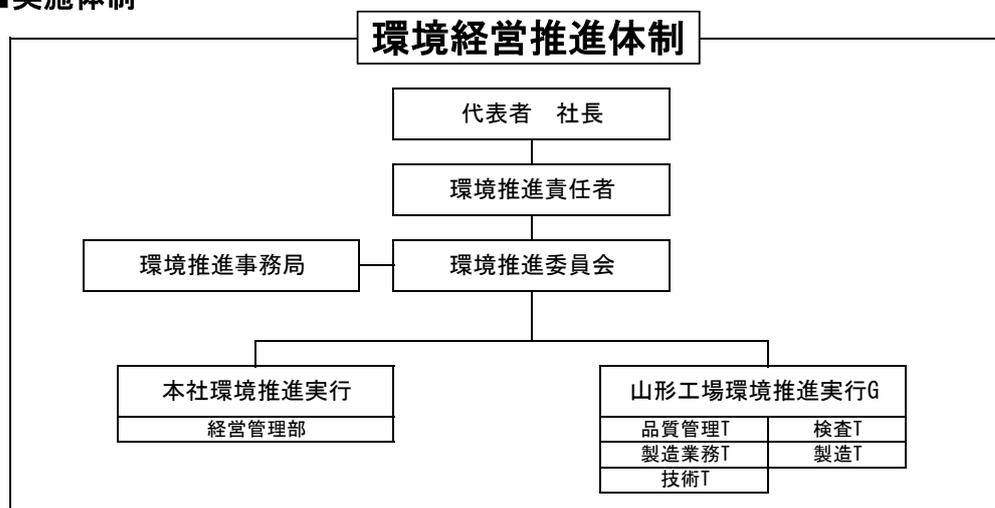
### ■事業の内容

本社 山形工場 : プラスチック製品の製造 (射出成形及び組付け)

■事業の規模	2019年度 活動規模	単位	2019年度		
			本社	山形工場	宮城営業所
	生産量	t	—	84	—
	出荷額	百万円	—	491.3	—
	従業員	人	2	27	3
	床面積	m <sup>2</sup>	161.54	2,301.28	134.13

- 沿革 1931年 8月 東工舎創立
- 1989年 5月 山形県新庄市に敷地18,327㎡ (5,553坪) を取得 (現 : 山形工場)
- 1995年 12月 (株)東工舎 (現 : 東京工場) と (株)シントー (現 : 山形工場) が合併して (株)シントーとなる
- 2000年 11月 株式会社リコー、環境マネジメントシステム登録工場取得
- 2006年 11月 エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得 (山形工場)
- 2007年 9月 エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得 (東京工場)
- 2008年 8月 ISO9001品質マネジメントシステム認証取得 (東京・山形工場)
- 2009年 9月 エコアクション21環境マネジメントシステム、東京工場、山形工場認証統合登録番号 : 0000963
- 2011年 11月 ISO9001 : 2008認証更新 審査登録証 Q1295
- 2017年 12月 ISO9001 : 2015認証更新 審査登録証 QMJ : 0021
- 2018年 1月 本社を足立区に移転、生産拠点を山形工場に移設
- 2019年 11月 宮城営業所 (宮城県岩沼市) を開設

### ■実施体制



#### 4. 環境関連法規制への違反・訴訟等の有無

(株) シントーでの事業活動にかかわる、全ての関連法規を抽出、整理し、取りまとめています。

主な関連法規	対象物	主な関連法規	対象物
騒音規制法・振動規制法	射出成形機・コンプレッサー・粉碎機	電気事業法	自家用電気設備
廃棄物処理法	廃プラ・廃油・水銀使用製品	PCB廃棄物特別措置法	コンデンサー、トランス
消防法	消防用設備	フロン排出抑制法	第一種特定製品(業務用エアコン)
大気汚染防止法	小型ボイラー	省エネ法	電気・重油・灯油・ガソリン等
浄化槽の管理	浄化槽	火災予防条例	危険物(重油・機械作動油・灯油等)
家電リサイクル法	廃棄する家電4品		

※国・都・県・区・市関係の法規制等(改正)については、常に入手できるように1年毎に  
関係機関(都、区、監署、工業部会)のホームページへアクセスして対応しています。

※遵守状況は6月に確認、遵守されています。

公害防止関連の規制、廃棄物リサイクルに関する規制、消防等の

規制違反について、関係機関から過去5年間に指摘は無く、訴訟等もありません。

#### 5. その他の活動 【山形】

- ① 工業団地内清掃活動
- ② 工場内除草作業(除草剤・草刈り機使用)
- ③ 次世代育成活動の一環として、近隣学生の工場見学実習受入
- ④ 5S活動(整理する為、不要な缶等を産廃物として破棄した)

#### 6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組内容

・環境経営目標(単年度・中長期)

環境経営目標項目	単年度目標	中長期目標(3年)
	2019年度目標 (2019.4~2020.4)	2019年4月~2021年3月 (3年)
1 電力使用量の削減	2018年同期比1%削減	2021年度までに2018年度実績値の3%削減を目指す
2 廃棄物排出量の削減	2018年同期比1%削減	2021年度までに2018年度実績値の3%削減を目指す
3 水道使用量の削減	2018年同期比1%削減	2021年度までに2018年度実績値の3%削減を目指す
4 CO2排出量の削減	2018年同期比1%削減	2021年度までに2018年度実績値の3%削減を目指す
5 生産性向上活動(工程内検査 不合格件数低減の達成)	2018年同期比1%増加	2021年度までに2018年度実績値の3%増加を目指す
6 グリーン購入推進	現状把握	グリーンマーク商品を優先的に購入する
7 A重油使用量削減	全保管量消費	使用が無くなるので活動計画終了とする。

<山形工場>

《評価基準》受注量に変動があり、それに伴い機械稼働率も変動する為、売上高あたり(売上百万円あたりの使用量・排出量)で換算し結果を評価した。(下段表示)

項目	単位	2018年度	2019年度
売上高	百万円	381.92	491.30

No	取組項目(年間)	単位 評価基準	2018年度	2019年度	2019年度	増・削減率	評価	2020年度	2021年度	
			実績値	目標値 (1%減)	実績値			目標値 (2%減)	目標値 (3%減)	
1	電力使用量	全社	kwh	748,657	741,170	674,972	-10%	○	733,684	726,197
		山形	kwh	740,746	733,339	668,577	-10%	○	725,931	718,524
			kwh/百万円	1,940	1,921	1,361	-30%	○	1,901	1,882
		本社	kwh	7,911	7,832	6,395	-19%	○	7,753	7,674
2	廃棄物排出量 (単純焼却 最終処分量)	全社	Kg	14,690	14,543	18,970	29%	×	14,396	14,249
		山形	Kg	14,690	14,543	18,970	29%	×	14,396	14,249
			kg/百万円	38.46	38.08	38.61	0%	×	37.69	37.31
		本社	Kg	0	0	0	-		0	0
3	上水道使用量	全社	m3	724	717	620	-14%	○	710	702
		山形	m3	687	680	593	-14%	○	673	666
			m3/百万円	1.80	1.78	1.21	-33%	○	1.76	1.75
		本社	m3	37	37	27	-27%	○	36	36
4	CO2排出量	全社	Kg-co2	413,935	409,796	379,150	-8%	○	405,656	401,517
		山形	Kg-co2	392,577	388,651	358,654	-9%	○	384,725	380,800
			Kg-co2/百万円	1,028	1,018	730	-29%	○	1,007	997
		本社	Kg-co2	21,358	21,144	20,496	-4%	○	20,931	20,717
5	品質改善活動(工程内 検査不合格件数低減)の達成	山形	成型2件・組立1件以下達成月	95.8%	(1%増加) 96.8%	70.0%	-25.8%	×	(2%増加) 97.8%	(3%増加) 98.8%
6	グリーン購入	山形 本社	積極的にグリーン購入の推進を行う。対象品目が多岐にわたるため、実績値は出さず現状把握する。							
7	A重油使用量削減	山形	A重油の使用が無くなるため2020年度より活動項目より削除する							

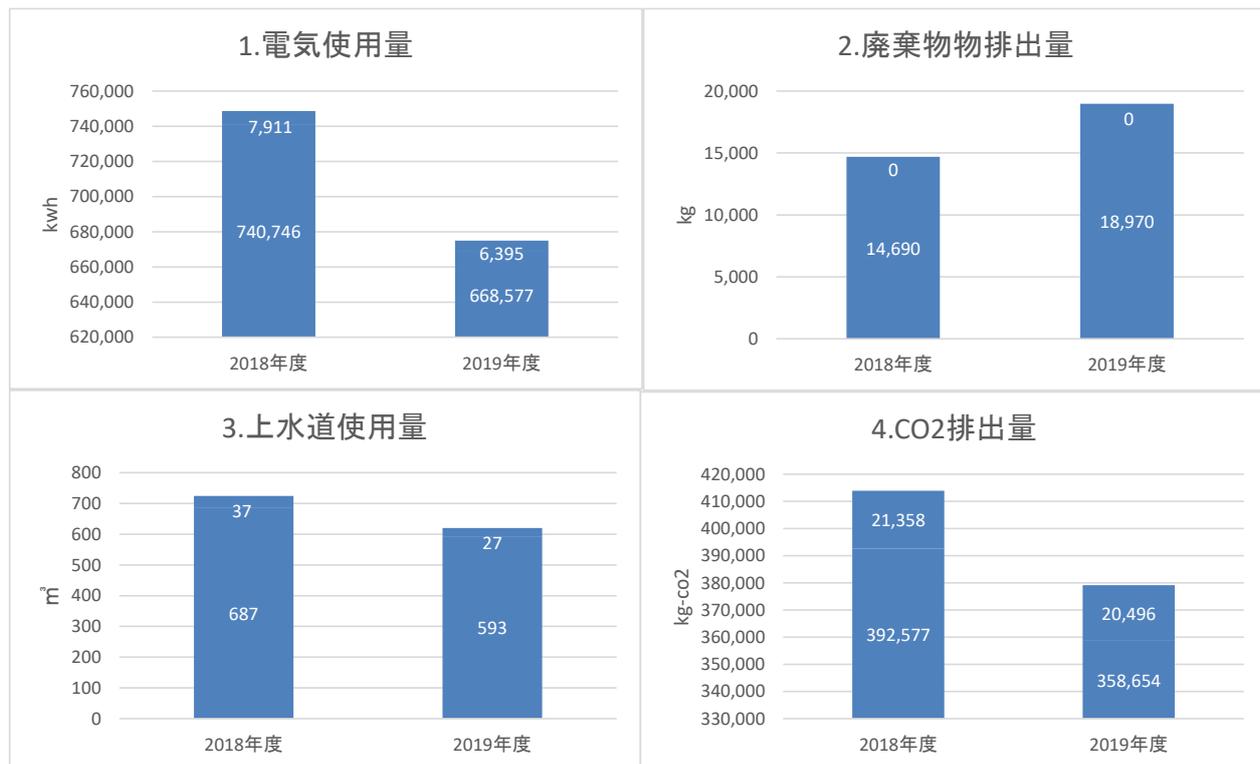
※二酸化炭素排出量は、電力、ガス、ガソリン、軽油の合計とし、H30(2018年)12.27公表の排出係数を使用。

本 社 : 東京電力排出係数0.462kg-co2/kwhを使用

山形工場 : 東北電力排出係数0.523kg-co2/kwhを使用

下段(売上百万円あたり使用量)

※化学物質は使用していない。



## 7. 環境経営計画に基づき実施した取組結果評価及び次年度への取組課題

○：十分に取組んだ ×：取組不十分

No	環境経営計画	環境活動項目	取組結果と評価	評価	次年度への取組課題
1	電力使用量の削減	自社、省エネルギーの遵守	不使用電気機器の電源OFF休憩時の消灯実施。月1回の社内パトロールを実施。	○	継続して省エネルギーを実施する。
		成形機の効率的稼働	成形機・成形担当者の増加も含め、新システム対応によるデータ収集を実施。	○	成形機使用時電力量の調査(デマンド管理業者による省エネ診断)も含み実施、より効率的な生産を図る。
		デマンド管理システムによる監視・低減	デマンド設定値を前月値を参考に見直していった。デマンド値2018.1月228kwh→2019.12月208kwhに下がり基本料金削減になった。	○	設定値を継続して管理し、スマートロクを有効に活用していく。
		設備の見直し	工場内の水銀灯交換時に合わせ、手元照度を確保しつつ、3ヶ所をLEDに切り替えた。	○	照明器具交換時に、LEDに変更。定期点検で早めに修理に繋げ故障破損を防ぐ。
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別・処理の徹底	長期不動態在庫・蛍光灯・鉄くず等工場内整理整頓から、分別処理が進み廃棄量増加。再利用排出量も増加した。	○	分別掲示板を見直しして作成し、分別の徹底を図り早期回収に繋げる。定期的なパトロールを継続する。
		紙類の再使用化及び排出低減	リサイクル業者への排出量は20%削減されたが、ダンボール、コピー用紙購入量は9%程増加した。	○	裏紙利用・データーメール送付を活用し低減に取り組む。ダンボールの継続使用を見極め分別を守りリサイクル率向上を目指す。
		不良品低減による廃プラ排出削減	再利用出来ていた、ダンゴ状廃プラが引取変更で単純焼却になり、排出量も増加した。	○	工程内不良の削減をし、作り込み・仕入先変更による不良・廃棄物の増加を防止する。
3	水道使用量の削減	節水全般	ポスター掲示による節水の呼びかけ。パトロールでの見回りを実施した。音姫利用。	○	流しっぱなしの防止、当、節水ステッカー、掲示物等で節水を喚起。
		設備の漏水点検	推進委員社内パトロール時の早期発見、修理を実施。	○	定期点検、社内パトロールでの早期発見、修理。
		水道使用量の管理	大きな故障等無く削減できた。毎日のメーターチェックにより使用量を計測し、前日との増加量と比べ異常への早めの対応につなげた。	○	1回/日の水道メーターチェックで前日との対比、異常の早期発見につなげる。掲示物の見直し作成をする。
		設備の見直し			
4	CO2排出量の削減	電気、A重油、廃棄物、水道の削減計画を確実に実行。	省エネルギーに基づき活動を実施し削減した。A重油は保管分を全量使用しゼロにした。	○	電力、廃棄物、水道使用量の取り組みを実施してCO2の削減につなげる。
		ガソリン使用量の削減 エコドライブの推奨	遠方得意先訪問の営業活動増加により、ガソリン利用量増加となった。	×	営業活動、営業社員の増加と共にガソリン使用量の増加が予想されるが、乗り合い、公共機関の利用も考慮していく。 エコドライブの推奨(掲示物、冊子配布等)
5	生産性向上の推進	ISO(QMS改善活動)工程内検査不合格件数削減活動実施	毎月の「工程内検査」を実施し、不合格件数の目標を定めた。不良を作る人が手直しの無駄を低減する為検査情報を上長・作業者と共有し未然防止に努めた。	○	品質改善活動を通じて、環境負荷軽減を図る。検査結果合格であってもキケンな物に対して情報を共有し、実績値の向上につなげる。
6	グリーン購入の推進	事務用品、備品等エコ対象品を優先的に購入する。	備品・事務用品を中心に購入時に優先してグリーン購入をしている。	○	事務消耗品、日用品に限らず、購入都度エコマーク対象品を確認、検討、可能な限り転換する。
7	A重油削減	A重油使用が無くなるのを、在庫を使用しゼロにする。	A重油保管分を全量使用し、在庫をゼロにした。今後使用予定はなし。	○	設備保全の為社内パトロールで破損等無いように確認していく。

## 8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

2019年度の活動報告を受け、昨年度よりエネルギー使用量・水使用量は削減できており、昨年の課題であった、A重油の使い切り、及び、LEDへの切り替えを行ってきた成果と思われる。

残念ながら、産業廃棄物排出量は昨年より倍増しているが、これは、長年放置してきた、大量の使用済み蛍光灯を5Sの観点から、整理廃棄したものであり、5Sの推進は品質向上と不良の低減とともに、廃棄物排出量の削減に寄与できるものと考えている。

水使用量の削減に関しては、昨年、クーリングタワーの水漏れがあったことで、修理後は減少したため、今後、このような不具合を発生させないように、各設備の定期点検・定期清掃をルール化し、定期チェックの業務とする等、改善を期待したい。

## 2020年度環境目標及び環境経営計画

2020年4月～2021年3月

No	環境経営計画	環境経営目標	単位	環境活動項目	責任部門 責任者	スケジュール 4月～3月
1	電力使用量の削減	電力使用量 全社 733,684 山形 725,931 本社 1,901	KWH	自社、省エネルギー・ルールの遵守 成形機の効率的稼働 デマンド管理システムによる監視・低減 設備の見直し	製造T 国分	(左記達成手段全て) →
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 全社 14,396 山形 14,396 本社 0	kg	廃棄物の分別・処理の徹底 紙類の再使用化及び排出低減 不良品低減による廃プラ排出削減	製造T 木村	(左記達成手段全て) →
3	水道使用量の削減	水使用量 全社 710 山形 673 本社 1.76	m <sup>3</sup>	節水全般 設備の漏水点検 水道使用量の管理 設備の見直し	技術T 笹原	(左記達成手段全て) →
4	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量 全社 405,656 山形 384,725 本社 1,007	kg-CO <sub>2</sub>	電気、A重油、廃棄物、水道の削減計画を確実に実行。 ガソリン使用量の削減 エコドライブの推奨	製造業務T 佐藤(美紀)	(左記達成手段全て) →
5	生産性向上活動の推進	山形 97.8	%	ISO(QMS改善活動)工程内検査不合格件数削減活動実施	品質・検査T 浅沼	(左記達成手段全て) →
6	グリーン購入推進	山形 本社	—	事務用品、備品等エコ対象品を優先的に購入する。	経営管理部 佐藤(亜矢)	(左記達成手段全て) →